

浦添市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

担当課	文化部文化課	内線	6213
戦略	戦略2 産業振興を通して域外からの収入の増加を目指す		
	戦略(2)-2 浦添市の観光産業の振興に向けた各種取組の実施		

指標	浦添グスク・ようどれ館への入館者数		
現況値	2014年度	6,822人	
	2015年度	6,927人	
目標値	2020年3月末	7,100人	
人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向			
1	安心して結婚・出産、子育てできるまちに (自然増の確保・社会減の抑制)	2 人々が集まり、住みたくなるまちに (社会増の確保)	3 長く住み続けられる住みよいまちに (社会減の抑制)

目標値達成に向けての取り組み			
1	事業名	歴史・文化ガイダンス強化事業	
	取り組み	歴史・文化情報発信業務委託	
	内容	ガイダンス施設（浦添グスク・ようどれ館等）に「NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会」のガイドを配置することで、受入体制の強化を行った。また、歴史ニュースの発行を月1回程度行うことで、情報発信の強化を図った。	
	改善点	業務の受託者である「NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会」とともに、市観光協会や各種メディア（インターネット、雑誌等）と連携し、文化財や施設の周知広報に努めたことで、施設の入館者数が増加したものと考えられる。	
2	事業名	歴史・文化ガイダンス強化事業	
	取り組み	文化財ガイドブック「ぶらり浦添」の刊行	
	内容	文化財ガイドブック「ぶらり浦添」の英語版を作成した。	
	改善点	これまでガイダンス施設に、外国の方を対象にした受入体制が整備されていなかったことから、ガイドブックの英語版の作成・配布を行った。これにより、外国からの観光客等に対する受入体制と情報発信の強化につなげることができた。	
3	事業名		
	取り組み		
	内容		
	改善点		

目標値達成に向け、他課（庁内）や他団体（庁外）との連携を意識したか。（平成27年度）
・観光振興課と連携して市の観光情報サイト「うらそえナビ」内に歴史と文化の特集ページを作成したことで、県内外に歴史・文化情報の発信を強化することができた。
・市の養成・育成する「NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会」や観光協会と連携して、イベントの実施や施設の周知広報を行うことで、施設への集客効果を高めることができた。
目標値達成に向け、情報収集・分析を意識したか。（平成27年度）。
より効果的な情報発信を行うために、常時アンケート等で利用者から「施設を何で知ったか」について情報収集を行っている。回答で得られたインターネットを含む各種メディアを活用した情報発信の強化を積極的に図ることで、施設の利用者増につなげることができた。
目標値達成に向け、市民意見の反映を意識したか。（平成27年度）。
浦添グスク・ようどれ館では、来館者アンケートを実施しており、常時利用者からの意見を収集した上で参考にしている。

目標値に向けての進捗状況（平成27年度の実績に対する担当課の自己評価）	
☒ A：順調に進行している。	D：進行しているとはいえない。
☐ B：概ね進行している。	E：後退している。
☐ C：一部進行している。	F：その他（ ）
進捗状況説明	
浦添グスク・ようどれ館の入館者数が順調に増えている。また、各種取材の数も多くなり、取り組みの効果ができていると感じる。	
目標値達成に向けて今後の展開	解決すべき課題・改善すべき点
	・平成27年度は文化財案内ガイドブックの英語版を作成し、外国の方へ対するガイダンス機能の強化を図ったが、近年増加傾向にあるアジア圏の方々の受入体制と情報発信については改善の余地がある。 ・県外からの個人利用者については増加傾向にあるが、修学旅行など団体利用についてはまだ少ないため、情報発信の強化を図る必要がある。
	今後の取り組み ・引き続き、関係機関等と連携しながら、文化財や施設の市内外への周知広報に努める。 ・文化財ガイドブックの中国語版などを作成することで、多言語化による受入体制と情報発信の強化を図る。 ・市観光協会や美術館などと連携しながら、修学旅行に関する動向についての情報収集を行うとともに施設の広報周知を行っていききたい。

所見（コメント）
・指標の「浦添グスク・ようどれ館への入館者数」について、2015年度の実績は前年度より増加しています。順調に推移しています。 ・「解決すべき課題」で外国人観光客や修学旅行生のことが示されていますが、どちらも観光分野です。引き続き観光協会等との連携を強化し、目標値達成に向け努めてください。